

放課後等デイサービス評価表 集計

実施時期
回収率

平成28年3月
100% (9/9)

共通

実施結果

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの 関係で適切であるか	5	1	1	
	②	職員の配置数は適切であるか	8		1	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー 化の配慮が適切になされているか。	1	6	2	
業務・ 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 しているか	8	3		
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向 等を把握し、業務改善につなげているか	6	1		
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開しているか	3	1	2	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果 を業務改善につなげているか	5	2		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の 機会を確保しているか	8	2		
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護 者のニーズや課題を客観的に分析したう えで、放課後等デイサービス計画を作成 しているか	8			
適切な 支援の 提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、 標準化されたアセスメントツールを使用し ているか	7			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行って いるか	8			
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫 しているか	8			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決 め細やかに設定して支援しているか	9			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団 活動を適宜組み合わせて放課後等デイ サービス計画を作成しているか	8	1		
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日に行われる支援の内容や役割 割分担について確認しているか	6	3		
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせ をし、その日行われた支援の振り返り を行い、気付いた点等を共有しているか	5	4		

103

24

6

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見
適切な 支援提供	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	1		
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	1		
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	6	1		
関係機関 や保護者 との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1		
	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8	1		
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	2		
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	3		
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	2		
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	4		
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	3	2	
	㉗ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6	3		
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	4		
保護者 への説明	⑳ 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	1		
	㉑ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	2		
	㉒ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	3	1	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見
保護者への説明責任	③③ 子どもや保護者からの苦情について体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速にかつ適切に対応しているか	7			
	③④ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			
	③⑤ 個人情報に十分注意しているか	7			
	③⑥ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	1		
	③⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5			
非常時等の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル感染症対応マニュアルを設定し、職員や保護者に周知しているか	6	1		
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			
	④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	1		
	④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1		
合計		260	60	9	
割合		67%	16%	0.02%	

69 4 0

各項目についての評価及び課題

③	訓練室等のスペース、設備等々については、既存の建物では限界があるため、中長期計画として、事業所の全面移転を考慮中。
⑥	事業所評価は今回初めて実施し、すでに、HPIには公開済みである。職員の自己評価等については公開する予定はない。ただし、職員も自己評価を実施していること等は広く情報公開していきたい。
⑬	各部における当日の打ち合わせについては、指導員・支援員のみでの打ち合わせ、利用者を変えての打ち合わせ等と習慣化されてきていると思う。支援終了後の打ち合わせについては時間的都合等もあるため、事後でも良いと考えている。
⑱	モニタリングについては中間総括として位置付けている。個別支援計画の総括、各部方針に対する総括、自己目標シートに対する総括等、目標掲示したものに対してはすべて総括することとして捉えてほしい。
⑲	ガイドラインについては各自、研修資料にファイルしてあるので、必ず目を通すように。個別支援と集団支援を絡めて取り組みを組織しているので支援はよりダイナミックになっているはずである。
⑳	各ステージにおける支援計画を情報公開していくことは、少しずつ、実施されつつあると感じている。が、まだまだ不十分である。相談員がうまくつなげることも必要と思う。
㉔	地域とのつながりも含め難しい課題である。時間をかけて、着実にやっていきたい。
㉙	ペアレントトレーニングについては他団体による研修があり、自事業所で行う必要も感じていない。当面、保護者会等において相談等に協力していく体制を考えたい。
㉚	㉙同様
㉞	感謝祭を通じて地域住民とのつながりを持つ機会としている。今年度は、原田地区の福祉推進会との関係を持ち始めたので拡がりを持ちたいと思う。

全体としての課題

職員に伝わっていないことが意外に多い。

- ・現在、実施している研修等を活用し、事業所の方針、事業所を取り巻く状況等を周知していく必要がある。

取り組みの報告会を行うことで、取り組みに対する姿勢、責任等々の意識変革を行い、職員集団の質の向上につなげたい。